



# K 中 通 信

学校だより第9号  
令和5年12月20日  
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

## 様々な関わりから学んだ1年

校長 佐藤 由利

今年も残すところあと10日余りとなりました。寒さが厳しくなってきた分、空気が澄んでいて、朝は晴れた日の富士山、夜は夜空に輝く星や月を眺めるのが楽しみです。

今年、日々の生活、学校生活での制限も無くなり、学校だけでなく、地域の行事も復活してきました。授業でも、各教科や総合学習等でグループワークやコミュニケーション活動などの協働的な学びの場面が多く取り入れられていますが、その他行事での取り組み、部活動、地域交流活動などでも、生徒たちが、仲間同士、また地域の方々と関わりながら成長していく姿をたくさん目にすることができました。やはり互いに顔を合わせて話し合ったり作業をしたりという経験は、生徒たちにとって本当に大切なことだと改めて感じる1年になりました。

久しぶりに行われた夏祭り、ふれあい☆みやがやまつりなどの地域交流活動では、大人の方々に交じって活動する中で、行事を運営する側の苦労ややりがいを感じ、地域の一員として、イベントのより良い運営方法について考えることなどもできたようです。地域清掃、地域防災訓練への参加や地域の子育て支援施設でのボランティア体験は、地域の取り組みや課題を知り、自分たちの住むまちについて考える良い機会にもなりました。防災訓練に参加していた生徒からは、自分たち中学生がこうした訓練に参加していくことの大切さを友達にも伝えたいといった感想も聞かれました。

また、2年生は11月に職場体験学習を実施し、先日その体験発表会が行われました。私が聞いたいくつかの発表からは、限られた時間の中でも充実した体験ができたことがしっかりと伝わってきました。そして当然と言えば当然のことかもしれませんが、どの仕事においても「相手意識」が大切なのだということが発表の中で共通して語られていたことが、この取り組みのひとつの成果であったように思います。大人として社会に出ていくことを徐々に意識していく中学生にとって、こうした様々な体験は普段の授業では得られない多くの学びに繋がったことと思います。改めまして、貴重な学びの場を提供してくださった地域の皆さま方に、心より感謝を申し上げます。

一年の終わりには、日本では「良いお年をお迎えください。」とあいさつを交わします。これから始まる新しい1年に期待する気持ちと、相手に対しても良い1年を過ごして欲しいという願いが込められた言葉です。なんとなく、心が和む、素敵なあいさつだなと思います。

生徒のみなさん、保護者・地域の皆さま、どうぞ、良いお年をお迎えください。